



SERVE TO CHANGE LIVES

脇町ロータリークラブ

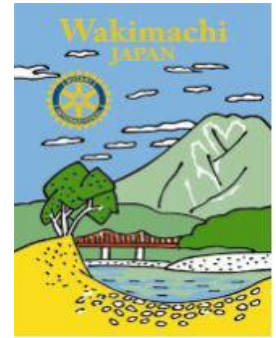
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2021年7月15日 木曜日

第3回例会 No.2760

会員総数: 39名 修正出席率: 100%



◎メークアップ

藤村会員、古田会員、小笠会員、遠藤会員、上柿会員、平山会員、岡本会員、藤原会員、南由起子会員、笠井会員
佐藤順二会員

◎会長挨拶

北川会長 高田一太郎会員がお亡くなりになりました。
葬儀は13日の火曜日に御家族のみで執り行われたそうです。
ご家族の意向でご厚志についてはご辞退するという事でした。
高田さんは剣山石油（株）代表取締役として昭和59年に入会して、1996年～1997年に第33代、
会長を務められ、現在では最古参会員でした。
ここ最近は、ご病気の為例会をお休みされておりましたがRCを愛し、毎年発行されるRC手帳
を愛用していたそうです。
年齢の違う私たちにも気さくに話しかけてくれる姿を思い出します。小さな体でガッツがあり
生涯ロータリアンを貫いた高田一太郎会員のご冥福を心からお祈り申し上げます。
さて、来週からは、オリンピックが始まります。22日が海の日で休刊となりますのでお間違い
の無いようお願いいたします。
ロータリー源流の会で「オリンピズムとロータリアリズム」と言う記事を見つけましたので、
紹介させていただきます。
オリンピズムの生みの親はピエール・ド・クーベルタンであり国際オリンピック委員会（IOC）
が設立されたのは1894年6月23日でした。
ロータリーはポール・ハリスにより1905年2月23日に呱呱の声を上げました。
両者が目指したものは、初期資本主義の欠陥あふれる世相の中で、人間の尊厳の保持に重きを置く
生き方を探求するものでした。
オリンピズムの目的は、平和な社会の推進を目指すために人類の調和のとれた発展にスポーツを
役立てることであります。
ロータリアリズムの目的は「超我の奉仕」であり、他者に対する思いやり、他者へ手を差し伸べる
事です。ロータリーの根幹は精神的な概念であり、一人の男が仲間を大切にしようとする胸に
響く波動が基本です。
以下、オリンピック憲章とロータリアリズムの根本原則に類似点があると記載されています。
オリンピック期間中にお時間がある方は、HPでご覧頂きたいと思えます。

◎幹事報告

須藤幹事

到着週報

●鴨島RC、阿波池田RC、洲本RC

到着書類

●美馬市社会福祉協議会「小さな親切」実行章の推薦についての依頼

●美馬地区保護司会「社会を明るくする運動」決起大会の案内

◎卓話 外部卓話 つるぎ町社会福祉協議会 北島 万紀子 様

毎年ロータリークラブさんに社協の善意銀行に寄付していただきありがとうございます。先日来てい
ただいた時に、ロータリーの冊子をいただいたので、本日来るにあたって内容を見せていただいたの

ですが、色々な活動をされてると感じたのと、世界における親善と平和の確立に寄与することと書かれていて、奉仕活動にも力を入れているので、我々の活動と通ずるものがあるなと感じました。今回のこのご縁を大切に、今後も共になにかできればと考えています。それでは、本題に入っていくのですが、奉仕活動は、福祉教育で学校に行ったときによくお話するんですが、仕え奉るって書くので、方向が一方通行のように感じるんですが、子ども達には、ボランティア活動だと伝えていきます。ボランティアという言葉には、お互い支え合うということがありまして、双方向での繋がりがあるとあって子ども達には伝えてます。そして、今度は、福祉についてお話していくのですが、社協とは、法律で社会福祉法というのがありまして、その中で各市町村で1拠点ずつ置きなさいと書かれています。地域福祉を推進する中核的な団体として、住民主体による「誰もが安心して暮らすことができる福祉の街づくりを推進すること」を使命とし、「地域住民の個々のニーズに応え生活を支えること、さらに地域の福祉課題の解決を図ること」を目標に、具体的な事業を展開しています。そして、福祉とは、命あるものすべてが、ふだんのくらしのしあわせを感じることができることと書かせていただいています。ここで、皆さんに少し考えてほしいです。皆さんが地域で幸せに暮らすために、お金と家以外に何がありますか。友達、健康、家族などたくさんあると思います。何を言いたいかと言いますと、お金と家は、生活保護で与えられるものです。でも、地域で幸せに暮らしていく中で、その二つで果たして幸せと言えるのでしょうか。それを考えていただきたくて質問をさせていただきました。先ほど出た幸せな条件は、生活保護では与えられないものです。やはり地域で幸せに暮らそうと考えると様々な条件が必要だと思えます。ということも皆さんにもわかってほしい。その上で、生活保護をもらっている方が本当に幸せなのかを考えていただきたいと思えます。福祉は、普段の暮らしの幸せを考えることなのと、地域の幸せは、地域の皆さんと共に考え、いろんなことをやっとなければならぬことだと思えます。最初言っていた一方通行の話に戻るのですが、「してあげるよ。してあげるよ。」って思ってくれるだけでもありがたいことですが、けれどもしてもらっただけでは、人としての小さくなっていくので、やはり「してあげる」だけでなく、「お互い様」という気持ちが大切で、双方向でやっていかないといけないと思えます。ここで、三つ目のお話になるのですが、社会福祉法が改正され、地域共生社会を創っていくということが方針に加わりました。それによって色々な福祉サービスもでき、困っている方々を助けることができましたが、サービスを使うばかりでは、サービスを使っているからあの人は大丈夫と思われ、地域の中での幸せとは離れていってしまいます。だから、サービスを使っている人たちも、地域の人と一緒にあって、地域での幸せを考えていかないと、縁がなくなり、人と人の繋がりがなくなり、そして、支えあうことや、地域の幸せを考えること、幸せに暮らすことがなくなってしまうのではないかと心配しています。皆さんも10年後をイメージしてください。皆さんが10年後どう暮らしたいかを考えてください。先ほど話した内容で、10年後皆さんがサービスを受けるばかりで果たして皆さんは幸せなのかというところで、人に迷惑をかけないで暮らしていくのか、人に迷惑かけても自分の思うように暮らしていくのかどちらでしょうか？これは、人それぞれだと思えますが、迷惑かけるのはお互いさまと思わないとしんどいと思えます。一方的にしてあげるでなく、本当にその人がしてほしいことを考えてあげたり、自分本位でない、お互いに支えあっていくことをこれから少しでも考えていただければと思います。今日の話をつきかき少しでも福祉のことを考えていただければと思います。本日はたくさんの繋がりができたと思えますので、地域に気になる方がいらっしやいましたら、遠慮なく社協にご相談いただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

次回例会	2021年7月29日(木) 12:30より 四季料理 森友
卓話	クラブ協議会

☆次の会員は例会欠席でした。メイクアップして下さい。

一井会員、木下会員、郷司会員、鉄野会員、信田会員、秦会員、藤村会員、吉野会員

☆次回例会の出欠を小野出席委員長まで連絡してください。